

新型コロナウイルス対応下の新潟県小学校長会の活動について

新型コロナウイルスの対応は長期化が予想され、学校においては感染予防対策を講じながら運営していくとともに、新たな学校教育の在り方を確立していかなければならない。このような難局に直面する今こそ、新潟県小学校長会は、研究と実践を止めることなく、全会員の総力を結集し、創意と活力にあふれた学校づくりに努める。

そのために、以下の基本方針に基づいて活動を進めていく。

【基本方針】

〈教育活動全般に関わること〉

- 子どもの生命や健康を守ることを最優先とする。
- 自校の全職員及びその家族等の生命や健康を守ることに細心の注意を払う。
- （陽性者、濃厚接触者、帰国者、医療従事者等への）差別や偏見を許さない。
- 分断（基礎疾患の有無、外国人、高齢者等）を助長する動きに同調しない。
- 「三密」を避けながらも、学級・学年の集団づくりなど、児童相互の心のつながりを保つ工夫をする。

〈県小校長会の活動に関わること〉

- 活動の目的、意義や価値を十分検討した上で、「会議、会合、研修の中止」と「代替の方法の検討、新たなシステム構築等」を適切に判断する。
- このような事態においてもできる実践、必要な実践を重ね、情報共有と記録の蓄積に努める。
- オンラインによる会議・会合・研修等を積極的に導入する。（拠点となる場所にタブレット端末を配置する）
- 会員一人一人のニーズや思いを汲み取ると共に、校長としての気概を支え合い、会員同士のつながりを保つ。
- 情報を迅速かつ幅広く収集し、複数（学校現場、保護者、県民等）の視点から総合的に検討し、適切な判断が下せるようにする。